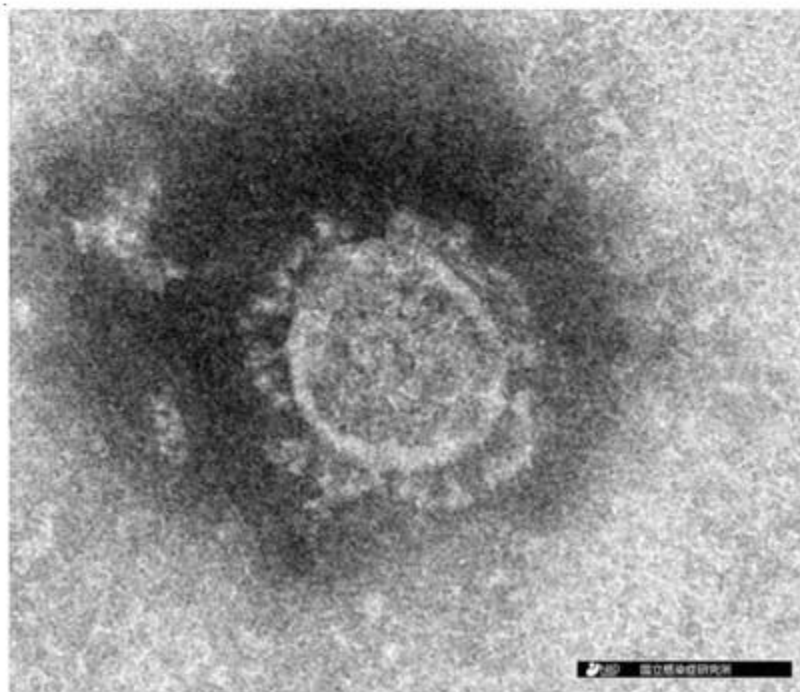


# 新型コロナウイルス COVID-19 Q & A



# Q.COVID-19とは？



- ◆2019年12月以降、中国・湖北省武漢市を中心に発生した、新型コロナウイルスによる感染症を、**COVID-19**（coronavirus disease 2019）と呼ぶ
- ◆ウイルスの名称として、**SARS-CoV-2、2019-nCoV**などが使用される
- ◆わが国では、感染症法で指定感染症に指定されている

# Q.そもそもコロナウイルスって？



- ◆ヒトに感染するコロナウイルスは、計6種類がこれまでに知られていた
  - ・風邪ウイルス 4種類
  - ・重症急性呼吸器症候群コロナウイルス (SARS-CoV)
  - ・中東呼吸器症候群コロナウイルス (MERS-CoV)
- ◆新型コロナウイルスは、これらとは異なるウイルスで、主に呼吸器感染を起こし、病原性はMERSやSARSより低いレベルと考えられている

# Q.COVID-19の感染経路は？



## ◆飛沫感染：

感染者の飛沫内（くしゃみ、咳、つばなど）にウイルスが放出され、ほかの人がそのウイルスを口や鼻などから吸い込むことで感染する

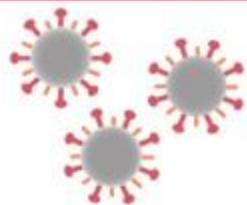
## ◆接触感染：

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触るとウイルスが付着する。それを触ったほかの人の手にウイルスが付き、そのまま口や鼻を触ることで、粘膜から感染する

◆現時点で、空気感染はしないと考えられている



# Q.感染者の発生状況は？



- ◆感染者の圧倒的多数は、中国で発生している
- ◆世界50カ国以上で感染者が報告されている
- ◆国内では、2020年1月3日に最初の感染例が報告された
- ◆国内感染者の多くはクルーズ船内の乗客と乗員だが、検疫官、武漢からチャーター機で帰国した人、それ以外の観光客などでも発生している
- ◆感染経路が明らかでない患者が散発的に発生しており、一部地域では、小規模クラスター（集団）の報告もある
- ◆国内の感染者数は増加しているが、軽症例や無症候病原体保有者が多くを占めている

# Q.COVID-19の症状は？



- ◆発熱、咳、筋肉痛、倦怠感、呼吸困難などが比較的多く、頭痛、喀痰、血痰、下痢などもみられる
- ◆主な感染部位によって、上気道炎、気管支炎、および肺炎などを発症すると考えられている
- ◆感染者の全員が発症するわけではなく、無症状で経過してウイルスが排除される例も存在する
- ◆上気道炎が主体でも肺炎が確認される例や、1週間以上の上気道炎症状が続いた後に肺炎が出現する例もある
- ◆死亡例では、敗血症や敗血症性ショック、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）などの合併が考えられる

# Q.COVID-19の診断方法は？



## ◆臨床的診断：

症状、診察所見および各種検査所見を踏まえて、まずほかの呼吸器感染症の除外診断が行われる。肺炎が疑われる場合は胸部X線検査、CT 検査などを実施し、肺炎と診断された場合は、原因病原体の検索により、ほかの感染症との鑑別を行う

## ◆ウイルス学的診断：

ウイルス検査には PCR 法など核酸増幅法が用いられる。医療機関から疑い例として保健所に届出後、地方衛生研究所または国立感染症研究所で検査が実施される。患者検体からウイルスが検出されれば、確定診断される



# Q.COVID-19の治療法・ワクチンは？



- ◆現時点で、有効性が証明された治療法はない。治療の基本は**対症療法**となる
- ◆肺炎を認める症例などでは、必要に応じて輸液や酸素投与、昇圧剤などの全身管理を行う。細菌性肺炎の合併が考えられる場合は、細菌学的検査の実施と共に抗菌薬の投与が必要と思われる
- ◆肺炎例や重症例に対する、副腎皮質ステロイドの投与については、現時点では有効性を示すデータはなく、推奨されていない
- ◆新型コロナウイルスのワクチンは存在しない

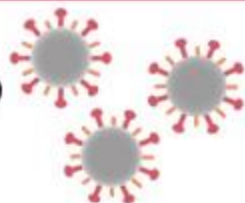


# Q.COVID-19の受診の目安は？



- ◆ 次の症状があり、COVID-19が疑われる場合は、「帰国者・接触者相談センター」に相談する
  - ・ **風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている**  
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含む)
  - ・ **強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある**
- ※ 高齢者や基礎疾患などがあり、上記の状態が2日程度続く場合
- ◆ 相談の結果、COVID-19の疑いが強い場合には、専門の医療機関が紹介される。公共交通機関の利用は避けること
- ◆ なお、現時点ではCOVID-19以外の疾患が圧倒的に多い。インフルエンザなどの疑いがあるときには、通常と同様に、かかりつけ医に相談すること

# Q.日常生活で気を付けることは？



- ◆ **標準予防策**：咳エチケットと手指衛生の徹底！
- ◆ **咳やくしゃみが出る人**は、マスクを着用しましょう
- ◆ **こまめな手洗い**が一番大切です。帰宅時や調理・食事の前後などに、石けんやアルコール消毒液で手を洗いましょう
- ◆ **できるだけ人混みや風通しの悪い空間を避け**、発熱などの症状が見られたときは、学校や会社を休んでください